

な ら し の ら た く

～夢に向かって共に働く願いを込めて～



アシザワ・ファインテック株式会社

新規障がい者雇用

～2人目を迎えて～

習志野市にあるアシザワ・ファインテック株式会社は、世界で最も小さなサイズの微粒子を生み出す最先端技術を誇る機械メーカー。令和2年11月に初めての障がい者雇用として知的障がいのある方1名（Sさん）を採用した会社は（詳しくは、“ならたく” vol.22をご覧ください。）、さらにこの4月に2人目の障がい者雇用として、特別支援学校高等部の卒業生を新たに1名採用しました。

その試みや想いを人事総務課 課長 宮下さん、そして新入社員のご本人（小林さん）にインタビューしました。



人事総務課課長 宮下さん

初めての障がい者雇用

障がい者雇用に関するセミナーや障がい者雇用企業を廻るバスツアーに参加するなど、自分なりに障がい者雇用について学んで来ましたが、実際には支援センターや特別支援学校の方々との関わりやSさんの実習を受け入れることで、少しずつ障がいについて学んだように思います。

これは雇用後も同じで、Sさんがすぐに職場に溶け込んだ訳ではなく、試行錯誤の中で“少しずつ馴染んできたかな”といった印象です。思い返せば当初は現場社員の負担感は強かったと思います。

障がいがある方のサポート機関が幾つかあることも知りました。（裏面参照）

2人目を迎えるにあたって

私と“小林さん”との出会いは、特別支援学校の進路の先生からの紹介です。次の雇用にあたっては、2つのことを決めていました。まず、「現場にまかせっきりにしないこと」そして、「人材として活用できる仕事を用意すること」です。これを達成できるならば、小林さんを採用しようと思っていました。勿論、様々な困難がありました。その困難を1年半（計3回）の実習を真面目に取り組んでくれた小林さん、そして現場の社員が乗り越えてくれました。

仕事が無いなら、集めよう！

1回目2回目の実習はSさんと同じ「機械洗浄」の配属にしました。しかし、実習後に現場から「業務内容的に一人で十分」と報告がありました。正直に話してくれたという思いの反面、困りました。他の業務を想定していません。

その整備部門の責任者から「各部署から業務を募集しては？」と提案がありました。小林さんを社に迎えたい一心からの申し出でした。

だれが来ても時間はかかる！

3回目の実習では、配属を私の人事総務課にし、各課から業務を募集しました。「図面のファイリング」「伝票封入」「発送業務」など様々です。業務の種類が多い分、各部門の方のサポートが必要となりました。なかには時間のかかる業務や苦手な業務もあり、やっていけるか不安がありました。

そんな時、現場の社員が「誰が来ても仕事を覚えるのには時間がかかる。採ってくれたら私が面倒を見ます。」と申し出てくれました。「うん、私もそう思っている！」と答えました。

小林さんに

お話を聴きました。

Q お仕事は、どうですか？

A 楽しいです。

Q 仲の良い人はいますか？

A 皆と仲が良いです。

Q 仕事の目標はありますか？

A 明るく元気に働きたいです。



新入社員 小林さん

所属部署:人事総務課
仕事内容:社内各課から集めた、ファイリング・封入等の仕事をしています。



小林さんは、働き始めて2ヶ月経ちますが、勤怠も安定していて仕事も正確なので、社内の各部署からの業務依頼も想定以上に来ています。



大切なこと

障がいは多様で、人によって得意／不得意があります。障がい者雇用だからと一律に同じ業務を充てるのではなく、その人の“強みを活かすことが大切”と気づきました。このノウハウは、他の社員やパートにも活かせます。今回の経験が“多様な働き方”に繋がると確信しています。

小林さん“働きたい”を支えるサポート図

障害者就業・生活支援センター

「あかね園」

ご家族



小林さん

八千代特別支援学校

障がいのある生徒が、生涯にわたって自立し、社会参加できるよう指導・支援します。

障がい者雇用の職場定着支援・社会自立への生活支援等を行います。

障がい者雇用に関し企業支援も行っています。

ハローワーク

「専門援助部門」

障がいのある方のお仕事探しを専門的にお手伝いする窓口です。障がい者雇用をお考えの企業に対する相談や求人開拓を行っています。

お問い合わせ

障害者就業・生活支援センターあかね園

☎047-452-2718

✉sien-center@akaneen.com

八千代特別支援学校（担当：森）

☎047-450-6321

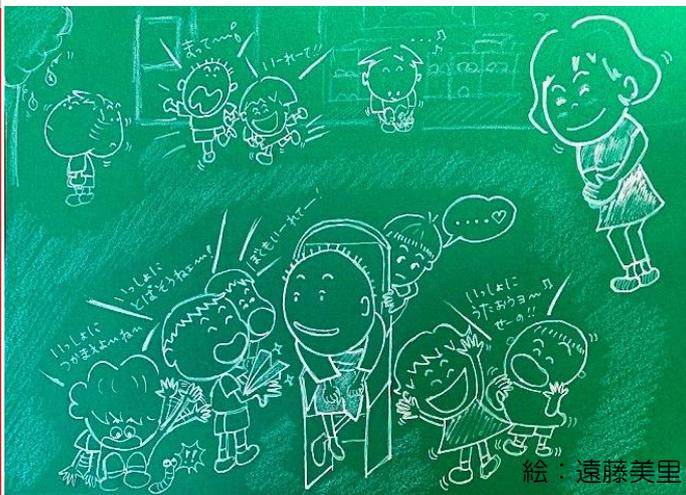
✉sinro.yachiyo-sh@chiba-c.ed.jp

取材後記

■取材を進める中で、「未来ある若者を職場にとって必要な人材に育てねば」という会社としての責任感のようなものが伝わってきて、心地よい緊張を覚えました。小林さんの真つすぐな目も印象的でした。（武井）

子ども達とショットあるある

わたしたちは、『きらっといっぼの会』(※♪)です。市のホームページに子育てエピソードを連載しています。子育ては障がいのある子もいない子もいっしょです。ぜひごらん下さい！



絵：遠藤美里

『お友だちとあそぶ』

「ねえ、どうして歩かないの?」「どうしてしゃべらないの?」息子を公園、保育所交流、園庭開放などに連れていくと、同年齢の子どもたちの悪気はないけどストレートな質問に傷つき、悲しくなり、正直もう行きたくなかったです。

でも友だちとのふれあいは大事だし…。

そこで、他の人に頼んで連れて行ってもらおうと思いついて頼んでみました。悩みました～(^_^;)。息子はお友だちと遊ぶ場に出かけていく事を楽しみにして、何もできなくても目をキラキラさせてお友だちの姿を見ていました。もっとたくさん連れていってあげたほうが良かったかな?

今は相談先やサービスがちょっとずつ増えてきているし、きつい時は誰かに頼んでみましょうね!



ホームページ



Instagram

(※♪)『きらっといっぼの会』

この度私たちは市民活動団体として新たなスタートをきりました。ホームページとInstagramも開設しました。こちらのQRコードよりご覧ください。



他のエピソードも公開中!
このQRコードから習志野市の
ホームページをご覧ください



【お問い合わせ】習志野市障がい者地域共生協議会（通称「ならとも」）

…障がい当事者の家族、福祉事業所、行政機関の職員等が集まり、障がい者の地域生活を支えるための活動や検討会を行っています。

事務局：習志野市 障がい福祉課 習志野市鷺沼2丁目1番1号

電話 047 (453) 9206 FAX 047 (453) 9309

ならたく 習志野

検索

